

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 患者情報共有・ICT 部会	
開催日時	令和4年8月18日(木) 開会；18時30分・閉会：19時15分	
開催場所	Zoom によるオンライン会議	
出席者(委員)氏名	藤井尚子、上村勇樹、栗原 肇、小沼 豊蔵、石島弘美、湊上通子、村上万里子、吉岡隆秀、川島 治	
欠席者(委員)氏名	松原克彦、千島万里江、江袋文紀、大山恵巳、	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	1. 前回のまとめ 2. 研修の方向性について 3. 課題について 4. 連絡事項	
会議資料	(資料名・概要等) ICT/患者情報共有部会資料	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名	
令和4年 9月 8日	上 村 勇 樹 ----- 藤 井 尚 子	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
藤井委員 各委員	<p>【開会】 18:30</p> <p>1. 前回のまとめ</p> <p>(1) 「わたしの人生ファイル」の普及と活用に向けた研修開催の方向性について</p> <p>①目的 多職種が情報共有を通して連携することにより患者さん本位のケアの実現を目指す</p> <p>②期待できる効果 ケアマネに医療職へ対する苦手意識をなくしていただく 各職種がお互いの考え方を知る</p> <p>③研修会のテーマ わかりやすく柔らかい表現とする「最期まで安心してご自宅で」</p> <p>④研修会参加対象 市内の専門職</p> <p>⑤開催方法 人生ファイルの理解と活用まで一度ではやりきれないため、研修をシリーズ化して2回に分けて開催することとする。</p> <p>【1回目】 「人生ファイルって何？」 専門職に人生ファイルを知っていただく</p> <p>【2回目】 「人生ファイルの利用」 カンファレンスのロールプレイを取り入れる</p> <p>(2) 課題 専門職に書いていただく項目について</p>

2. 研修の方向性について

① 1回目 「人生ファイルって何？」

研修参加者は、作成側の作成意図などは聞きたくはないだろう。それよりも、「人生ファイル」のメリット、デメリットを伝えた方が良い。

MCSの作業部会グループ内でメリットを伝え合う。

部会としてメリットをまとめていく。

② 2回目「人生ファイルの利用」実践編

DVDケースの「ふらべえ」で実施するのはいかがか。

できるだけたくさんの職種が参加、発言する機会のある研修、役割がイメージできるように、退院後に介護保険サービス導入時としてのケースを立てて、退院時カンファレンス場面で実施するのが良い。

(2)課題について

○「人生ファイル」を専門職が書く負担をどうするか？

○実際はどうなのか？

本人が書けるところは書いてもらうこととすると良い。

まずは、やって（書いて）もらう。

宣伝しないといけない。デイサービスでは、宣伝をする時間的余裕はある。また、利用者に自分自身のためであることを伝えて、利用者（市民）から必要性を感じてもらい、意識向上させる。

デイサービスの管理者に全部、説明するのはどうか。できるところから始めても良いのではないか。

医師から、ケアマネや通所系サービスで書いてもらうように利用者に伝える。

発信力のある人から依頼があるとよい。

ケアマネが鍵になるだろう。

また、本人の利用する、しない意思を尊重することも必要。

本人が書いたら、家に持ち帰り、ケアマネに報告してもらえるとありがたい。

(3) その他連絡事項

MCSの利用をお願いしたい。

10月から始まるACP講座への協力もお願いしたい。

【閉会】 19 : 15